

## 1.4 御堂筋を取り巻く社会環境

御堂筋沿道は商業業務の集積地として多くの事業所が集積している。しかし、平成 19 年から 20 年にかけて空室率が増加し、御堂筋がある大阪府中央区の事業所数は平成 8 年以降減少し、年間商品販売額も平成 11 年以降減少している。

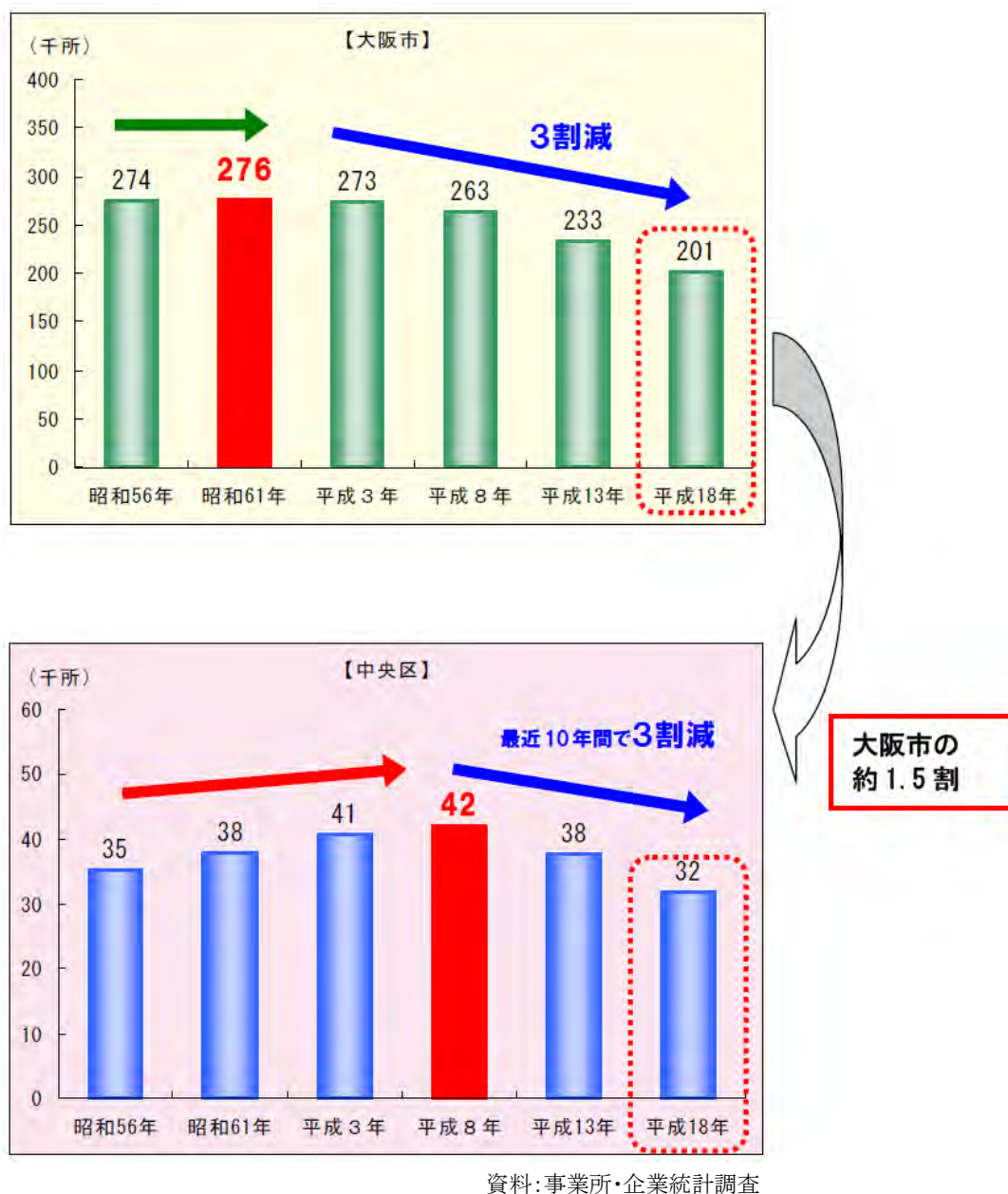


図 事業所数の推移

## 2 御堂筋に関する意見と課題について

### 2.1 御堂筋の交通状況に関する意見把握

#### ＜意見把握の実施概要＞

一般市民やイベント来場者、地元自治会等の他、御堂筋と関わりが大きい沿道事業者や、御堂筋を利用する事業者を対象に意見や課題を把握した。

合計で3,000人程度の回答を得ており、幅広い人々から意見や課題を把握することができた。

- ・ 実施時期：平成22年3月～6月
- ・ 対象者：一般市民、イベント来場者等、地元自治会、沿道事業者等、運送事業者、タクシー事業者

表 意見把握の実施概要

調査対象	調査方法	実施期間	配布数	回収数
一般市民等	WEB、インターネットモニター、街頭ヒアリング、郵送配布・郵送回収アンケート(JAF会員、地元自治会、タクシー・運送事業者ドライバー)	3月24日～6月14日 (WEBアンケートは5月31日まで実施、街頭ヒアリングは5月12日実施)	6,800	1,877
イベント来場者等	御堂筋オープンフェスタ来場者に聞き取りによる調査を実施。	5月9日	—	870
地元自治会等	御堂筋沿道の愛日、船場、久宝、芦池、御津、精華の各地区においてグループインタビューを実施。	5月20日(芦池、精華) 5月21日(愛日、船場、久宝) 6月4日(御津)	—	—
沿道事業所等	御堂筋に面したビルに入居する建物所有者やテナント入居事業所にアンケートを配布し、郵送で回収。	5月19日～6月14日	1,500	119
運送事業者	トラック協会の名簿に掲載されている法人事業者へ郵送配布し、郵送で回収。	5月21日～6月14日	183	37
タクシー事業者	タクシー協会の名簿に掲載されている法人事業者へ郵送配布、個人事業者へはタクシー協会から調査票を配布し、それぞれ郵送で回収。	5月24日～6月14日	370	157

#### ＜アンケート調査票＞

御堂筋の交通状況に関する意見把握のためのアンケート調査票(一部)は以下のとおりである。

**問6** これまでの質問でお答えいただいた現状の御堂筋の問題を解消するために、緩速車線を閉じてゆとり空間を創り出すことについてお考えをお聞かせください

緩速車線を閉じてゆとり空間を創ったイメージ図



現状の御堂筋の問題を解消するために、緩速車線を閉じてゆとり空間を創ることは有効だと思いますか	①	有効だと思う	どちらかといえば有効だと思う	どちらかといえばない	どちらかといえば有効ではない	有効ではない
緩速車線を閉じた場合、以下のような影響が想定されますが、お考えをお聞かせください		問題	やや問題	どちらでもない わからない	あまり問題でない	問題でない
② 車線数が減少することで混雑が発生すること		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 緩速車線でのバスやタクシーの利用や乗降、待ち停車ができなくなること		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④ 緩速車線での停車や荷さばき活動ができなくなること		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤ 車が御堂筋沿道のビルや駐車場に入るとき歩道の横断距離が長くなり人と車がぶつかりやすくなること		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

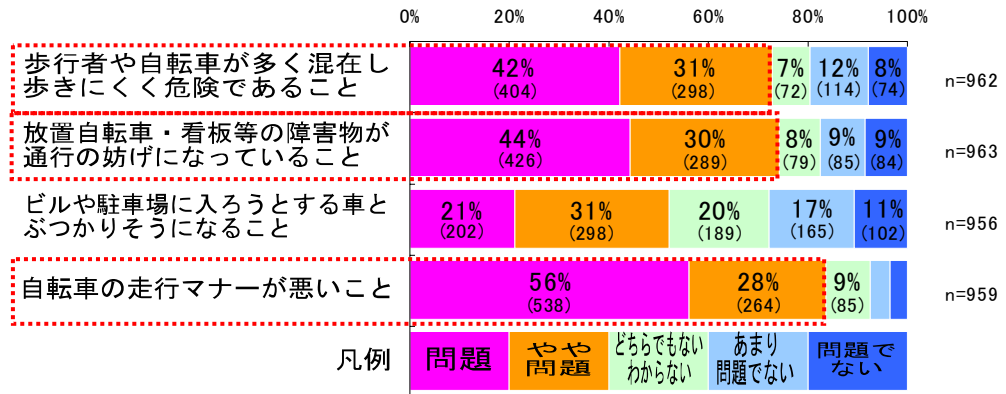
図 アンケート調査票

<アンケート結果>

○一般市民アンケート

<歩行者の視点での課題>

御堂筋を通行する際の主な手段が徒歩・車いすである場合の御堂筋の課題としては「歩行者、自転車が混在し、歩きにくく危険であること」「放置自転車・看板等の障害物が通行の妨げになっていること」「自転車の走行マナーが悪いこと」などが「問題、やや問題」と回答する割合が高く（約7割～9割）、多くの人が問題と感じている。

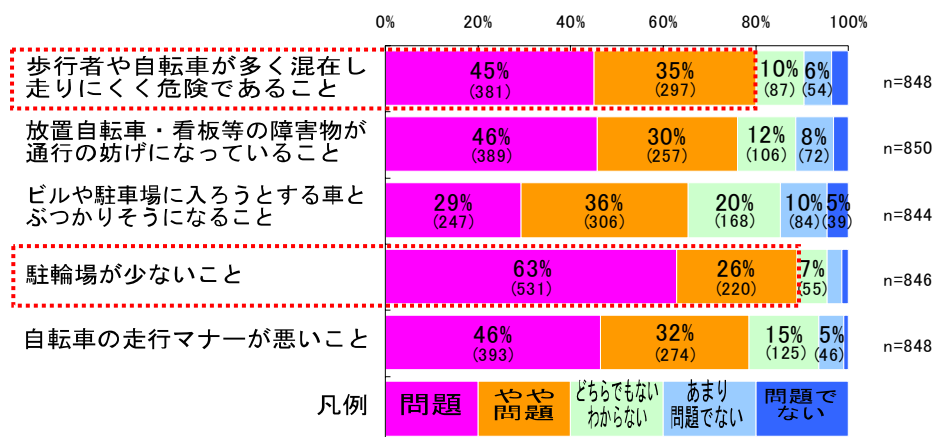


出典：大阪国道事務所独自調査(H22 今後の御堂筋の空間のあり方に関するアンケート調査(一般市民))

図 歩行者の視点での課題

<自転車の視点での課題>

御堂筋を通行する際の主な手段が自転車である場合の御堂筋の課題としては「歩行者や自転車が混在し、走りにくく危険であること」「駐輪場が少ないこと」などが「問題、やや問題」と回答する割合が高く（8割以上）、多くの人が問題と感じている。

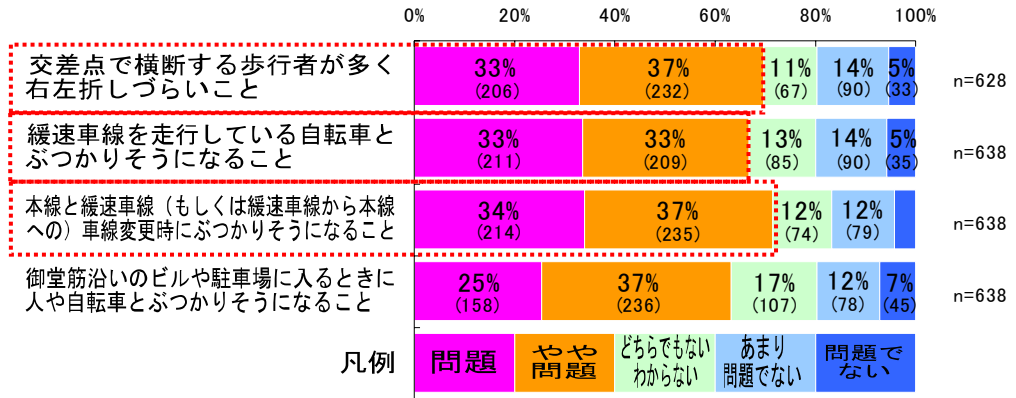


出典：大阪国道事務所独自調査(H22 今後の御堂筋の空間のあり方に関するアンケート調査(一般市民))

図 自転車の視点での課題

<自動車・バイク利用者の視点での課題>

御堂筋を通行する際の主な手段が自動車・バイクである場合の御堂筋の課題としては「交差点で横断する歩行者が多く、右左折しづらいこと」「緩速車線を走行している自転車とぶつかりそうになること」「本線と緩速車線の車線変更時にぶつかりそうになること」などが「問題、やや問題」と回答する割合が高く(約7割)、多くの人が問題と感じている。



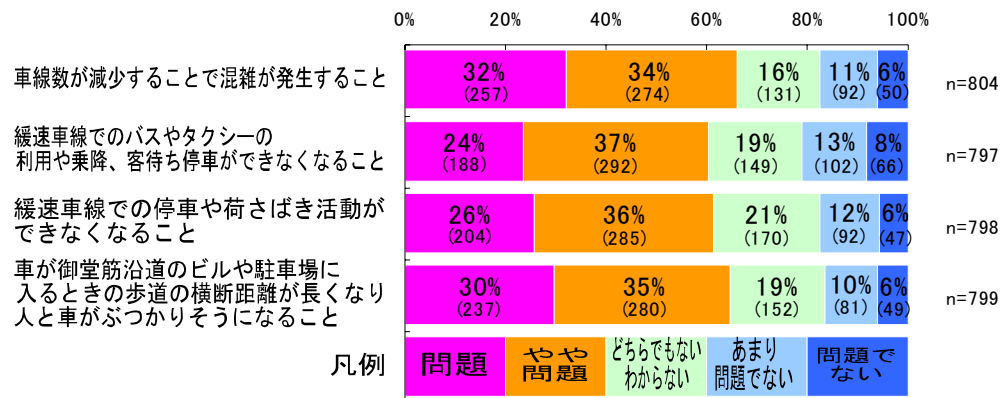
出典:大阪国道事務所独自調査(H22 今後の御堂筋の空間のあり方に関するアンケート調査(一般市民))

図 自動車・バイク利用者の視点での課題

○イベント来場者アンケート

<緩速車線を閉じたときの想定される影響>

緩速車線を閉じたときの想定される影響は、「問題」「やや問題」を合わせるといずれも6割を超えているが、これは一般の御堂筋利用者に比べてやや低くなっている。



出典:大阪国道事務所独自調査(H22 今後の御堂筋の空間のあり方に関するアンケート調査(イベント来場者))

図 緩速車線を閉じたときの想定される影響

## ○地元自治会グループインタビュー

## 愛日・船場・久宝地区

- ①構造を変える必要はない。問題は自転車・歩行者のマナーである
- ②慎重に検討を進めるべき
- ③御堂筋は北と南で地域性が異なる
- ④自転車通行禁止にすべき(社会実験)
- ⑤イチョウをさわることは絶対反対

## 芦池地区

- ①具体的な案やメリットを示すべき
- ②自転車対策

## 精華地区

- ①具体的な案を示すべき
- ②自転車対策

## 御津地区

- ①具体的な案を示すべき
- ②御堂筋は北と南で地域特性が異なる

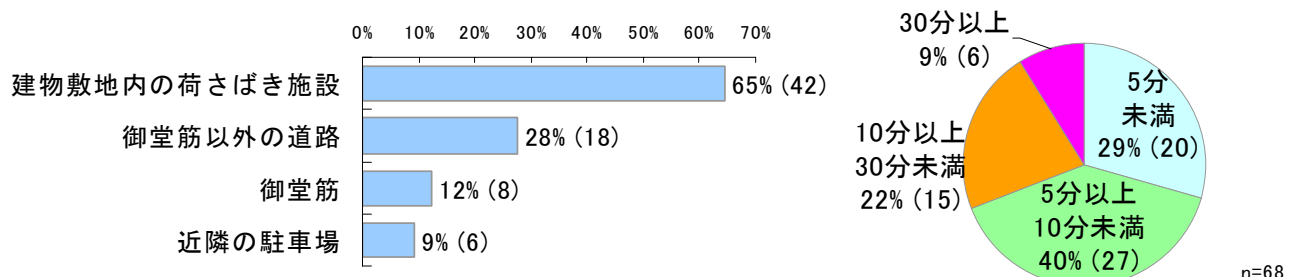
## ○沿道事業所アンケート

## ＜荷さばきの実施状況＞

荷さばき場所は「敷地内の荷捌き施設」が約 7 割ともっとも多く、次いで「御堂筋以外の周辺道路」が約 3 割となっている。

「御堂筋」が「近隣の駐車場」より、回答数が多い。

1 回の荷捌きに要する時間は約 7 割が 10 分未満であるが、30 分以上も約 1 割ある。



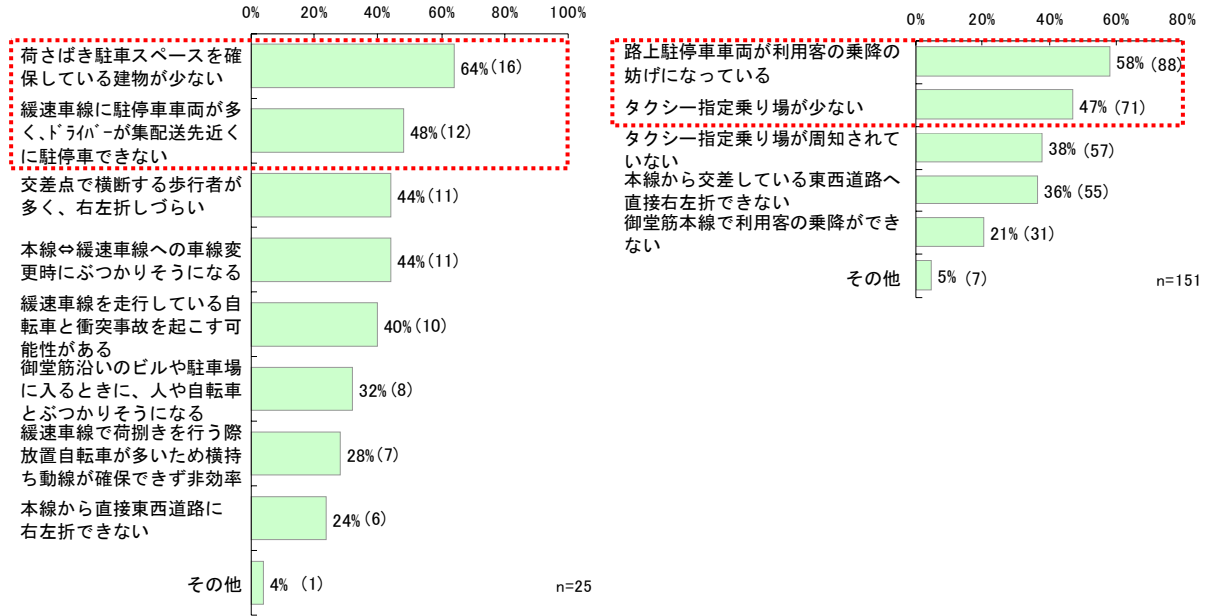
出典：大阪国道事務所独自調査(H22 今後の御堂筋の空間のあり方に関するアンケート調査(沿道事業所))

図 荷さばきの実施状況

○運送事業者・タクシー事業者アンケート

<御堂筋の問題点、改善が必要な点>

運送事業者が考える御堂筋の問題点、改善が必要な点は「荷さばき駐車スペースを確保している建物が少ない」がもっとも多く、次いで「緩速車線に駐停車車両が多く、ドライバーが集配送先近くに駐停車できない」が多くなっている。同様に、タクシー事業者では「路上駐停車車両が利用客の乗降の妨げになっている」がもっとも多く、次いで「タクシー指定乗り場が少ない」が多くなっている。



出典:大阪国道事務所独自調査(H22 今後の御堂筋の空間のあり方に関するアンケート調査(運送事業者・タクシー事業者))

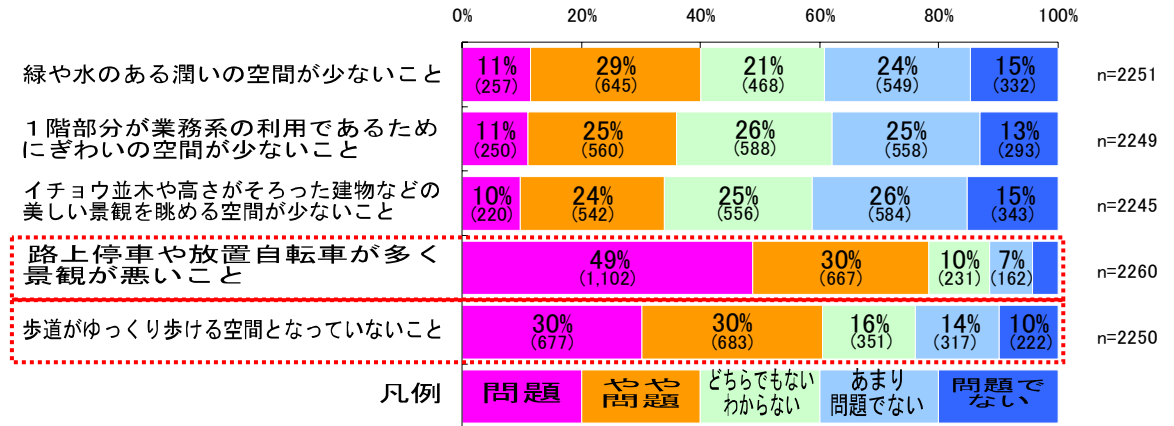
図 運送事業者・タクシー事業者が考える御堂筋の問題点、改善が必要な点

2.2 シンボルロードである御堂筋に関する意見把握

①一般市民アンケート

＜シンボルロードである御堂筋の課題＞

シンボルロードとしての御堂筋の課題としては「路上停車や放置自転車が多く景観が悪いこと」「歩道がゆっくり歩ける空間となっていないこと」などが「問題、やや問題」と回答する割合が高く(約6割～8割)、多くの人が問題と感じている。



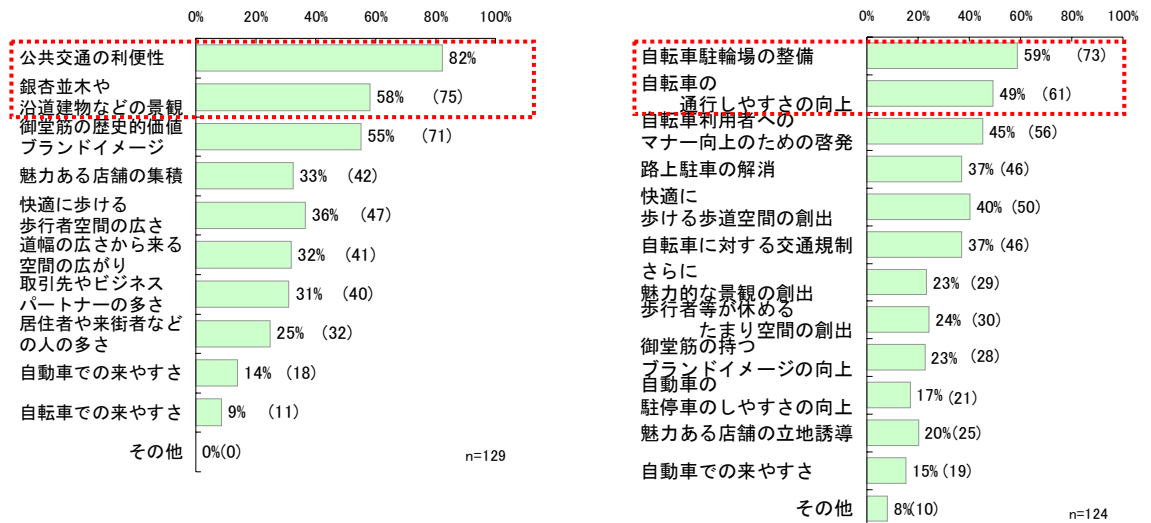
出典:大阪国道事務所独自調査(H22 今後の御堂筋の空間のあり方に関するアンケート調査(一般市民))

図 シンボルロードである御堂筋の課題

②沿道事業所アンケート

＜御堂筋の価値について＞

沿道事業所が考える御堂筋の「価値」は「公共交通の利便性が良いこと」がもっとも多く、次いで「銀杏並木や沿道建物などの景観」が多くなっている。また、御堂筋の「価値」を向上させるための改善策として「自転車駐輪場の整備」が最も多く、次いで「自転車の通行しやすさの向上」となっている。



出典:大阪国道事務所独自調査(H22 今後の御堂筋の空間のあり方に関するアンケート調査(沿道事業所))

図 沿道事業所が考える御堂筋の「価値」と「価値」を向上させるための改善策

### 3 御堂筋の将来像について

御堂筋については、今後、周辺地域を含めて、「賑わい」「回遊性」の向上を目指すとともに「新しい都市魅力」を創出していく。また、このようなまちづくりを支えるためにも喫緊の課題である自転車利用の適正化を図る。

